

# まき歯科新聞

第14号

〈毎月第3火曜日〉



## 輝く歯は何色？

お歯が過ぎ、心なしか夕暮れが早くなってきたような気がします。夏間はまだまだ暑いですが、心地よい夕涼みができぬ季節は、少しづつ近づいてくるように思います。それによっても我が家の娘達は小麦色をこころに通じ越しく、麦茶色となりました。笑顔で白い歯がキラキラ輝きます☆  
現代では、歯は白く何うが美しいといわれます。しかしその昔、日本では『お歯黒』という習慣がありました。先月号でも少し触れましたがこの習慣は皇族から民間まで広く普及し、入れ歯にさえお歯黒が塗ってあったとのこと。日本では主に既婚女性の化粧とされており、明治末期まで続いたといわれています。お歯黒の主成分は鉄漿水(かねみず)と呼ばれる酢酸に鉄を溶かした溶液に五倍子粉(ごじこう)を混ぜることで二酸化鉄を多く含む粉を混ぜたものでかなりの悪臭があったとか。目的はもちろんだ見た目の美しさなのですが、歯を被膜で覆うことで歯予防の効果もあったようです。漆のような艶のある黒色が美しいといわれ、数日に一度は塗り直しをしなければならなかったといわれています。

もしかしたならば『黒色』が美しいとされる時代が来るのかも想像せませんが、私が生きていくうちにはまだ来ないよう。今はやはり輝く白い歯が好まれます。歯の色も人それぞれで、大人の歯は子ども歯に比べ、黄色みがかったものが一般的。時折、子ども頃顎の骨の中で大人の歯ができてくる時期の服薬が原因で生まわす灰色みを帯びた色になることもあります。

歯石だけでなく、お茶やコーヒーなどの食品や喫煙など食品など由来する着色は、歯科でクリーニングをしてもらうだけです。つまり本来の色に戻ります。元々の色をより白くしたい場合はホワイトニング保険外の治療となります。この方法もあります。鉄漿水のような臭いもなく、年々1〜2回程度で白さを保つていくことができます☆  
太陽でも負けない、輝く歯で残りの夏を楽しみたいものですねー！



健口から健康のお手伝い

# まき 歯科

院長 副島真紀

診療時間 月～金曜 10:00～12:30/14:00～20:00  
土・祝日 10:00～14:00

診療科目 歯科・小児歯科・口腔外科・矯正歯科  
※訪問診療も行っております。

島原市上新丁 1-4158-1 あんしんハウス島原 1F TEL.64-5077